



Riverine and Wetland Environments: From Niche Construction to Nutritional Archaeology

河畔と湿地の環境：ニッチ構築から栄養考古学へ

Professor Tony Brown

トニー・ブラウン（英国サウサンプトン大学教授／地球研招へい外国人研究員）

日時

2017年4月28日（金） 15:00-17:00

場所

総合地球環境学研究所 講演室

Riverine and Wetland Environments: From Niche Construction to Nutritional Archaeology

河畔と湿地の環境：ニッチ構築から栄養考古学へ

2017年 4月28日(金) 15:00 - 17:00
総合地球環境学研究所 講演室

講演要旨

湿地と湖沼の堆積物には、過去の環境や暮らしや食のあり方のような人類活動について推定することが可能な環境代替指標が含まれています。さらに、sedaDNA（堆積物古代DNA）やバイオマーカー（生物指標）を用いた新しい分子分析法が、堆積物のポテンシャルを大いに引き出してくれるようになりました。これらの手法は今、スコットランドやアイルランドをはじめとするヨーロッパの古代の湖畔集落に関する研究プロジェクトに広く用いられるようになっています。これと、考古遺跡を理解する概念として有用なニッチ構築理論を組み合わせ、フランス南部とスペイン北部のクロマニヨン人が遺したマドレーヌ文化（1万7千年前～1万2千年前）の河畔遺跡の様子を描写してみます。また、人類のニッチは栄養の観点から考えることもできます。ヨーロッパの旧石器時代と、日本の縄文・弥生時代の栄養生態に関して現在取り組んでいる研究についてもお話しします。

Abstract

Wetlands and lake sediments are known to provide high-quality environmental proxy data on past environments and human activity, including data on lifeways and foodways. However, new molecular techniques such as sedaDNA and biomarkers are greatly extending this potential. Both are currently being used in a project on ancient lake settlement in Scotland and Ireland, Europe. One of the most useful concepts for many archaeological sites is niche construction theory and its use will be illustrated by an example from Magdalenian (17-12 Ka) riverine sites in southern France and Northern Spain. The human niche, can also be thought of in nutritional terms and this leads to an example from the European Palaeolithic and preliminary discussion of current work on Jomon and Yayoi nutritional archaeology.

講演者

Professor Tony Brown トニー・ブラウン教授

英国サウサンプトン大学地理環境科学部教授／ノルウェー・タラムサ大学客員教授。

専門は自然地理学（特に沖積地地形学）、古生態学、栄養考古学。最近では堆積物から古代DNAを直接抽出するsedaDNAの研究を進めている。また、学術誌 *The Anthropocene* の編集委員も務めている。2017年5月末まで、招へい外国人研究員として地球研に滞在中。

問い合わせ

総合地球環境学研究所
近藤康久
kondo@chikyuu.ac.jp

次回予告

トニー・ブラウン
人新世の地形学と持続可能な
河川・斜面システム
5月30日(火) 15-17時 講演室



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4

アクセス

■ 地下鉄烏丸線

京都駅 → (20分) → 国際会館駅
→ 京都バス40系統「京都産業大学ゆき」または
50系統「市原ゆき」または
52系統「市原経由貴船口・鞍馬・鞍馬温泉ゆき」
→ (6分) → 地球研前] バス下車すぐ

■ 京阪沿線

出町柳駅 → 叡山電車鞍馬線 (17分) → 京都精華大前駅
→ (徒歩10分) → 地球研

マイカーでのご来場は固くお断りします。
公共交通機関をご利用ください。

